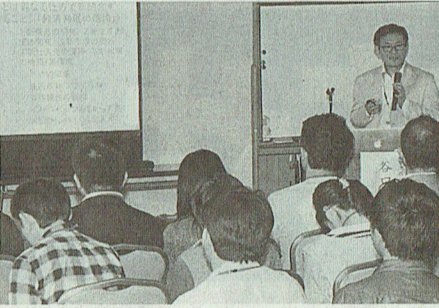


地域の課題解決「官民で」

九大産学連携セミナー開講 福岡市

九州に必要な政策を立案する人材を育成する九州大産学連携セミナー「地域政策デザインー養成講座」が14日、開講した。第7期の

本年度は「ソーシャル・イノベーション（社会革新）による新しい価値の創造」がテーマ。初日は福岡市東



地域政策デザインー養成講座であった谷口博文教授の講義

区の休暇村志賀島で同大教員と会社社長の3人の講義があり、会社員や大学院生などの受講生と聴講生計約90人が耳を傾けた。

ソーシャル・イノベーションは、社会的な課題の解決に取り組みビジネスを通して新しい社会的価値を生み出す革新のこと。九大産学連携センターの谷口博文教授は「公共性と営利性のはざままで政策を考える」と題して講義し「官だけでなく、企業やNPO、市民団体も公共の担い手」と強調。

「現状を縛る規制や法律の枠組みを外して抜本的に考え、官民一体で自分ごととして取り組むことが課題解決には重要」と述べ「地域課題の解決に情熱を持ち、

斬新なアイデアを実現してほしい」と呼びかけた。

セミナーは九大と九州経済連合会、九州地域産業活性化センター、九州経済調査協会、西日本新聞社でつくる実行委員会の主催。第7期は11月まで九大キャンパスでの講義や台湾のフィールドワークなど計13回が予定され、受講生たちが自らの政策を発表する。